

〔長久手町業務評価票：平成18年度業務〕

課係NO・業務NO	□ □ □ □ - □ □ ・ □ □	総合計画	3 節 1 3 2 項	遊び場の確保
担当課・係名	児 童 課 児 童 係【問合せ・質問等の先（内線番号） 1 8 2 番】			

業務の名称	交通児童遊園管理運営業務					
(1)根拠法令・条例	児童福祉法 長久手町交通児童遊園の設置及び管理に関する条例					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 1.4 % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 38.1 人・日 (臨時雇用者延人数: 254.8 人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	1,596 千円 (平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	0.0 % (平成18年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	昭和57年度	終了(予定)年度	年度		
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)						
業務目的(達成目標)	児童の健康を増進し、交通安全の知識及び能力の開発に寄与する場とすることを、目的とする。					
業務が対象とする住民(地域、層)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童。					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	・一般利用(自転車利用) ・団体利用(自転車利用)					
業務の実施結果 (平成18年度実績)	現代社会の変革から、また学校の週休二日制の導入もあり、土日曜日の利用、父親の利用が増え、父親の育児参加、親子のふれあいにつながった。予算や人員の増減はなし。					
	【業務結果の説明指標】					
	結果の説明指標		17年度	18年度実績	19年度目標	将来目標
	1	利用者	16,769	17,265	17,500	20,000
	2	自転車利用	5,540	6,358	6,500	10,000
	3					
	4					
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	現代社会の変革から、また学校の週休二日制の導入もあり、土日曜日の利用、父親の利用が増え、父親の育児参加、親子のふれあいにつながった。予算や人員の増減はなし。					
	【業務成果の説明指標:基本計画準拠】					
	成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標
	1	利用者	16,769	17,265	17,500	20,000
	2	自転車利用	5,540	6,358	6,500	10,000
	3					
	4					

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・児童の安心で安全な環境づくりの観点から現在の人的配置では限界を感じる。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
・17年度から、交通児童遊園の1日開園日（土日曜日、夏休みなど）を従来の昼1時間（12時～1時）休園から1日を通して開園とした。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0 点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 （該当番号に○印）	① 前年度と同じく、そのまま継続する。 2．見直して継続（業務の拡大） 3．見直して継続（業務の縮小） 4．見直して継続（方法の改善） 5．見直して継続（他業務と統合） 6．廃止する。 7．休止する。
評価理由	交通児童管理運営は、従来どおり、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、継続していきたい。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
交通児童管理運営は、従来どおり、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、継続していきたい。